

「植樹・間伐体験教室」に参加しました

国立研究開発法人 森林研究・整備機構
森林整備センター 秋田水源林整備事務所

秋田水源林整備事務所（秋田県秋田市）は、平成29年11月9日（木）に、秋田県南秋田郡五城目町ごじょうめまちの林業研究グループ主催の「五城目小学校植樹・間伐体験教室」に協賛しました。

この体験教室は、五城目町の林業研究グループが毎年行っているもので、体験を通して森林・林業への理解を深めてもらうことを目的に開催されました。今年度は、従来の講義だけでなく、実際に水源林造成事業地での植樹や間伐を体験させたいとの小学校からのご要望にお応えして、事業地で植樹を体験していただくことになりました。

当日はいつ雨が降り出してもおかしくない天候でしたが、五城目小学校の5年生47名が9班に分かれ、林道を10分程度歩き、林業研究グループの会員及び森林整備センター職員の補助のもと、約100本のスギを植栽しました。

前日までの雨により濡れた地面のため移動もままならない状況下で、使い慣れないとうぐわ唐鍬での穴掘り作業は大変でしたが、みんな熱心に取り組んでいました。スギ苗を身近で見ると初めての中で、自分で植えたことに達成感を感じている様子が見られました。

現場の大変さも経験できればとのこと、比較的急な斜面での作業であり、また、植栽の後には間伐作業の見学もあるというタイトなスケジュールではありましたが、参加者皆さまのご協力のもと、安全に作業ができました。間伐の伐倒見学では、児童たちだけでなく先生方も、受け口や追い口は講義で習っていても、実際に見るのは初めてとのことでした。

短い時間でしたが、体験を通して児童たちにも山仕事の大変さを味わっていただけたようでした。

秋田水源林整備事務所は、地域の林業団体とのコラボレーションなど、アンテナを張り巡らし、様々な形態で、今後も児童を含め地域住民の皆様に森林・林業への理解を深めていただく活動を行えたらと思います。



児童たちと植樹作業



記念撮影